

日 中 対 照 研 究

——主語の省略について(1)本論篇——

小 川 泰 生

次の文章を見ていただきたい。川端康成の『伊豆の踊子』の一節とその中国語訳である。

はしけはひどく揺れた。踊子はやはり唇をきつと閉じたまま一方を見つめてゐた。私が繩梯子に捉まらうとして振り返つた時、さよならを言はうとしたが、それも止して、もう一ぺんただうなづいて見せた。

はしけが歸つて行つた。(伊25)

舳板摇晃得很厉害，歌女还是紧闭双唇向一边凝视着。我抓住绳梯回头来，想说一声再见，可是也没说出口，只是又一次点了点头。舳板回去了。(伊141)

ここで問題にしたいのは、「さよならを言はうとしたが、それも止して、もう一ぺんただうなづいて見せた」のは誰かということである。ここは、山口明穂氏の指摘する¹⁾ように、「踊子」である。

ところが、中国語訳では、「私」がその主体となっている。このように、日本語では主語が省略されることが多く、しかも、文脈の中で考えていかねばならない場合も多々あり、外国人が日本語を学ぶ際に理解しにくいことの一つとなっている。因みに、英訳本でも、この部分は誤訳されている²⁾。

日本語の主語の省略や日本語と英語の主語については、久野璋氏や水谷信子氏等の著作がある³⁾。本稿では、そうしたものを参考にしつつ、日本語と中国語の主語は、どういう場合に省略され、どういう場合に省略されないかを、『伊豆の踊子』を主たる資料として、

1. 日本語も中国語も省略しないもの
2. 日本語も中国語も省略するもの
3. 日本語は省略しないが、中国語は省略するもの
4. 日本語は省略するが、中国語は省略しないもの

の4つに分けて考察してみたい⁴⁾。なお、本稿では、資料として、日本語を中国語訳したものを用いた。中国語を日本語訳したものについては、稿を改めたい。

1. 日本語も中国語も省略しないもの

1・1 固有名詞が主語となる場合

固有名詞が主語となる場合は、当然のことながら、日本語も中国語もその主語を省略しない。

- ① **榮吉**はひどく感傷的になつて泣き出しさうな顔をしながら河瀬を見つめてゐた。(伊20)
- 榮吉**象是非常伤感，露出要哭的脸色，注视着河滩。(伊129)
- ② **きみ子**はざくろにすまなかつたように思った。(石75)
- 紀美子**觉得有点对不起石榴。(石75)

1・2 主体が変わる場合

主体が変わる場合には、主語がないと、動作の主体がはっきりしないので、日本語も中国語も主語が必要である。

- ③ 二階の戸障子がすつかり明け放たれてゐるので、なんの氣なしに上つて行くと、藝人達はまだ床の中にあるのだつた。**私は**面喰つて廊下に突つ立つてゐた。(伊19)
- 二楼的纸榻扇整个地打开着，我毫不在意地走上去，可是艺人们都还睡在铺垫上。**我**有些慌张，站在走廊里愣住了。(伊128)
- ④ 船員が小さい金だらひを配つて廻つた。**私は**カバンを枕にして横たはつた。(伊25)
- 船員在到处分发小铁盆。**我**枕着书包躺下了。(伊141)
- ⑤ 踊子がまた連れの女の前の煙草盆を引き寄せて私に近くしてくれた。やつぱり**私は**黙つてゐた。(伊15)
- 歌女把摆在她同伙女人面前的烟灰缸拉过来，放在我的近边。**我**还是没有开口。(伊118)

1・3 とりたて

とりたての場合も、日本語、中国語とも主語は省略されない。

- ⑥「いいとも、たんとでなければ、**あたしが**なんとかしてあげよう。」(ダ6-79)
 “当然可以！要不是太多的话，**我**怎么也给你弄点。”(ダ6-79)
- ⑦「**わしらが**水戸まで送らにやなんねえんだが、さうも出来ねえでな。」(伊25)
 “**我们**本应当送她到水户，可是又做不到。”(伊141)
- ⑧「**私は**，知らん」(D58)
 “**我**不知道。”(D38)

1・4 格助詞「が」のついているもの

格助詞「が」のついているものは、日本語では主語となり、中国語でも省略されない。

- ⑨「それがきめてになったのだろう、**わたしが**勝利者となった」(友55)
 “后者大概起了决定性的作用，**我**成了胜利者。”(友55)
- ⑩**私が**振り返ると笑ひながら言つた。(伊17)
我回过头来，听见歌女笑着说。(伊121)
- ⑪「**あの上の娘が**女房ですよ。」(伊20)
 “**那个年长的姑娘**是我的老婆，” (伊129)
- ⑫**女辯士が**豆洋燈で説明を讀んでみた。(伊24)
女讲解员在灯泡下面念着说明书。(伊139)
- ⑬**山々の姿が**遠近を失つて白く染まり，**前の小川が**見る見る黄色く濁つて音を高めた。(伊18)
群山的形象分不出远近，都染成一片白，**前面的小河**眼见得混浊了，变成黄色，发出很响的声音。(伊124)
- 「が」は⑨⑩のように人称代名詞についてとりたてとなったり，⑪⑫⑬のように初出の人やものについたりもする。

1・5 副助詞「も」のついているもの

副助詞「も」のついているものは、日本語では主語は省略されず、中国語でも“也”がついて主語となる。

- ⑭「**私も**そう思いますが一」(D69)
 “**我也**是这么想啊…”(D46)

- ⑮「実を云うと、**あたしも** お金はないんだよ。」(夕6-81)
 “说实在的，**我也** 没有钱了！”(夕6-81)
- ⑯「**君も** すぐ出発し給え」(D14)
 “**你也** 立即出去吧！”(D7)
- ⑰「**我々も**，あの森に避難しましょう。」(D21)
 “**我们也** 到森林中去躲一躲吧。”(D13)

2. 日本語も中国語も省略するもの

2・1 真理や事実や客観性の強い発言

真理や事実や客観性の強い発言は、日本語では主語が省略され⁵⁾、中国語でも省略される。

- ⑮▽一本のオールは水の中に突っこんで動かさず、一本のオールは力を入れてこげば、回ることができるようになる。(リ106)
 ▽一只浆插在水里不动，一只浆用力划，就可以拐弯儿了。(リ106)
- ⑯▽部屋の入口をはいると、中央に1つのストーブが燃えています。(リ156)
 ▽一进屋门，中央生着一个炉子。(リ156)
- ⑰▽そこではお茶を味わいながら世間話をすることができます。(リ133)
 ▽在那里可以一边品茶，一边聊天儿。(リ156)
- ⑱『風と共に去りぬ』の切符は▽東京でもなかなか手に入りにくいようです。(嘘65)
 《随风而去》的票，▽就是在东京也很难买到。(嘘65)

2・2 命令・依頼

命令や依頼を表わす文は、日本語も中国語も省略することが多い。

- ⑲「▽返して来い。」(伊23)
 “▽送回去吧。”(伊136)
- ⑳「▽思い出させないでよ。」(牛60)
 “▽别让我想起它。”(牛60)
- ㉑「▽開けて見給え。」(D12)
 “▽打开看看。”(D5)
- ㉒「▽眠ってはいけない。」(D32)

“▽不能睡啊！”(D21)

⑳<▽声を出さずに読め。>(D38)

“▽不要念出声来。”(D25)

㉑「▽人を二人、ベルンまで同乗させてあげて頂けませんか？」(D37)

“▽能不能让两个人搭你们的车到贝隆去？”(D24)

しかし、日本語も中国語も共に主語を省略しない場合もある。

㉒「お前は この年画を2枚壁に張りなさい。」(リ174)

“你 把这两张年画贴在墙上吧。”(リ174)

㉓「喜蔵！お前 読み上げてみねえ！」(入2-62)

“喜蔵！你 唱票吧！”(入2-62)

㉔「あんたたち たくさん食べなさいね。」(リ86)

“你们 多吃点儿吧。”(リ86)

㉕「あなたたち, ばかなことを言わないで。」(リ124)

“你们 别瞎说。”(リ124)

㉖「君も すぐ出発し給え。」(D14)

“你也 立即出去吧！”(D7)

㉒は、BがAに何をすべきかを聞いて、することを指示された後、CがAに何をすべきかを尋ねたのに対するAの答えである。つまり、Bは～をしなさい、Cは～をしなさいというふうに、対照的に使われているのである。㉓は、他でもないお前がというとりたててであり、㉔㉕はその場にいるみんなに命令しているのである。㉖は1・5で述べた「も」がついたので主語が省略されていない。

この他、日本語では省略されるが、中国語では省略されない例も多く見られる⁶⁾。

㉗「△お遊びにいらつしやいませ。」(伊19)

“您来玩啊！”(伊126)

㉘「でも、うちのおちいでございますから△御心配なさいませ。」(伊15)

“不过，这是家里的老爷子，您用不着担心。”(伊119)

㉙「さあ△お先きにお飲みなさいませ。」(伊23)

“快点，请您先喝吧。”(伊135)

上の3例は、日本語が敬語なので、中国語でも“您”が入ったと考えられる。

2・3 日本語の句点(。)を中国語では逗号(，)で訳す場合

これは訳し方の問題でもあるのだが、日本語で主語を省略した複数の文を、中国語では文を切らないで、逗号でつないで、前の文の主語が後ろの文にかかっていく場合である。日本語は短い文でも主語をかなり省略できるが、中国語は英語ほどではないにしろ、ある程度主語が必要なので、逗号でつないでいかねばならないのである。

- ③⑨ 雨戸を閉ちて床にはいつても胸が苦しかつた。▽また湯にはいつた。
▽湯を荒々しく掻き廻した。(伊18)
我关上木板套窗上了床，内心里还是很痛苦，▽又去洗澡，▽胡乱地洗了一阵。(伊125)
- ③⑩ 踊子が走つて追つかけて来た。▽自分の背より長い太い竹を持つてみた。(伊23)
歌女跑着追过来，▽抽出一根比她人还长的粗竹子。(伊136)
- ③⑪ 二三人連れて行くとしたら、彼は籤引では連れて行きたくなかった。▽やっぱり、信頼のできる乾児をみずから選びたかった。(入2-59)
假如带领两三个人去，他并不愿意用抽签决定人选，▽还是想亲自挑选信得过的部下。(入2-59)
- ③⑫ 女達は容易にそこを離れなかつた。▽手拭をしぼつて汗を落したりした。(伊23)
女人们不愿轻易离开那里，▽拧着手巾擦干了汗水。(伊135)
- ③⑬ 私はそれが人の物であることを忘れたかのやうに海苔卷のすしなぞを食つた。▽そして少年の學生マントの中にもぐり込んだ。(伊25)
我好象忘记了这不是自己的东西，拿起紫菜饭卷就吃起来，▽然后裹着少年的学生斗篷睡下去。(伊142)

2・4 会話

会話の場合、日本語では一人称、二人称の主語を省くことが多く、中国語でも省略している例がみられる。

- ④① 「今夜は▽まだこれから廻るんですか。」
「▽廻るんですが。」(伊19)
“今天夜里▽还要到哪里去巡回演出吗？”“▽不想兜个圈子。”(伊127)
- ④② 「いいえ、▽今人に別れて来たんです。」(伊25)
“不，▽刚刚和人告别。”(伊141)

- ⑬「いいの。▽下田で新しいのを買ふもの。」(伊23)
 “没关系, ▽在下田要买把新的。”(伊136)
- ⑭「どうしたの? ▽食べないの? ▽お腹でも痛いのかい」(ダ6-78)
 “怎么了? ▽不吃吗? ▽肚子疼吗?”(ダ6-78)
- しかし、中国語の場合は省略できるが、しない場合も多く見られる⁹⁾。

3. 日本語は省略しないが中国語は省略するもの

3・1 日本語と中国語で、主語の位置が逆になる場合

これも訳し方の問題もあるだろうが、日本語の△○⁹⁾が中国語では○△となり、主語の位置が異なってくる場合である。

- ⑮△水と聞いて(私は)走つた。(伊23)
 (我)一听说有水△就跑起来了。(伊135)
- ⑯△手紙を燃やしながら、(おれは)くすくす笑っていた。(ダ6-84)
 (我)燃烧着信, △一边吃吃地笑了起来。(ダ6-84)
- ⑰△入社して以来、(わたしには)一人のライバルがあった。(友55)
 (我)入公司以后, △有一个竞争对手。(友55)
- ⑱△踊ると真近に向ひ合つたので、(私は)あわてて袂から煙草を取り出した。(伊15)
 (我)就这样和歌女面对面地靠近在一起, △慌忙从衣袖里取出了香烟。(伊118)
- ⑲△二人が話し出したのを見て、うしろから(女たちが)ばたばた走り寄つて来た。(伊16)
 (几个女人)看见我们两个在谈话, △便从后面奔跑着赶上来。(伊121)

この例でみる限り、日本語は主語が後ろにあり、中国語は主語が前に来ている¹⁰⁾。

この他、3に属するものとしては、“刮风”、“下雨”などの無主語文が考えられる。

4. 日本語は省略するが、中国語は省略しないもの

これが例も多く、また、最も理解しにくい点だと思われる。

4・1 承前

日本語では前文或いは二三文前の主語を承けて、主語が省略されること

がある¹¹⁾。この場合、中国語は主語を補わなければならない場合が多い。

- ⑤⑩ 踊子が下から茶を運んで来た。△私の前に坐ると、眞紅になりながら手をふるふる顫はせるので茶碗が茶托から落ちかかり、△落すまいと疊に置く拍子に茶をこぼしてしまつた。(伊17)

歌女从楼下端来了茶。⑩坐到我面前，满脸通红，手在颤抖，茶碗正从茶托上歪下来，⑩怕倒了茶碗，乘势摆在铺席上，茶已经撒出来。(伊122)

- ⑤⑪ 一行は大島の波浮の港の人達だつた。春に島を出てから旅を續けてゐるのだが、寒くなるし、冬の用意はして來ないので、下田に十日程ゐて伊東温泉から島へ歸るのだと△言つた。(伊17)

这伙艺人是大岛的波浮港人。⑪他们说，春天从岛上出来，一直在路上，天冷起来了，没有做好冬天的准备，所以在下田再停留十来天，就从伊东温泉回到岛上去。(伊121)

- ⑤⑫ 踊子は竹束のところまで引き返すと、また走つて來た。今度は△中指くらの太さの竹を私にくれた。そして、△田の畦に背中を打ちつけるやうに倒れかかつて、苦しきうな息をしながら女達を待つてゐた。(伊23)

歌女回到堆竹子的地方，又跑回来。这一次，⑫给我拿来一根有中指粗的竹子。接着，⑫在田埂上象背脊给撞了一下似的，跌倒在地，呼吸困难地等待那几个女人。(伊136)

- ⑤⑬ 踊子は階下で宿の子供と遊んでゐた。△私を見るとおふくろに縫いついて活動に行かせてくれとせがんでゐたが、顔を失つたやうにぼんやり私のところに戻つて下駄を直してくれた。(伊24)

歌女正在楼下跟小旅店的孩子们一起玩。⑬一看到我，就去央求妈妈让她去看电影，可是接着垂头丧气的，又回到我身边来，给我摆好了木屐。(伊139)

- ⑤⑭ 夜、私が木賃宿に出向いて行くと、踊子はおふくろに三味線を習つてゐるところだつた。△私を見ると止めてしまつたが、おふくろの言葉でまた三味線を抱き上げた。(伊21)

晚上我到小旅店去，歌女正跟妈妈学三弦。⑭看到我就停下了，可是听了妈妈的话又把三弦抱起来。(伊131)

- ⑤⑮ 踊子が一人裾を高く掲げて、とつとつと私について來るのだつた。△一間程うしろを歩いて、その間隔を縮めようとも伸さうともしなかつた。(伊22)

歌女一个件高高地提起下摆，紧紧地跟着我跑。(她)走在后面，离我一两米远，既不想缩短这距离，也不想再落后。(伊134)

⑤⑥「ああ、踊子はまだ宴席に坐つてゐるのだ。△坐つて太鼓を打つてゐるのだ。」(伊18)

“啊，那歌女正在宴席上啊。(她)坐着在敲鼓呢。”(伊124)

⑤⑥では、日本語は、一文目の「踊子」を承けて、二文目では全く主語が姿を表わさないのに対し、中国語の方は、二文目の冒頭に“她”を補い、“茶碗”という別の主語が間に入ったためか、“怕”の前に更に“她”を補っている。⑤⑦では、日本語では一文目を承けて、二文目では主語を省略しているのに対し、中国語では、二文目に“他们”を補っている。⑤⑧では、日本語は、一文目の「踊子」を承けて、二文目、三文目と主語が省略されているのに対し、中国語では、二文目、三文目にそれぞれ“她”を補っている。⑤⑨～⑤⑫は、日本語では一文目の「踊子」を承けて二文目では主語が省略されているのに対し、中国語では、“她”を補っている¹²⁾。

4・2 文脈

これは、4・1承前とも関係があるのだが、日本語で、前後の文脈から主語が省略される場合である。この場合、中国語では主語を補わなければならない。

⑤⑦彼は妻のこんな性格も季節の変り目に起きる喘息も、何が原因かを知っていた。△喘息の発作を起すようになったのは美津子が小学校の帰り、交通事故で死んでからである。雨の日で△小さな傘をさしていたので向うから疾走してきた小型トラックが見えなかったのだ。(嘘59) 为什么妻子有这样的性格？为什么在季节转换的时候发生哮喘？他对这个原因是一清二楚的。自从美津子在小学校放学回来的路上因交通事故死亡之后，(她)开始哮喘了。那天下着大雨，(美津子)打着一把小雨伞，没能看到从对面疾驶而来的小型载货卡车。(嘘59)

⑤⑧彼らの旅心は、最初私が考へてゐた程世智辛いものでなく、野の匂ひは失はないのんきなものであることも、私に分つて来た。△親子兄弟であるだけに、それぞれ肉親らしい愛情で繋り合つてゐることも感じられた。(伊22)

我逐渐了解到，他们旅途上的心境并不象我最初想像的那么艰难困苦，而是带有田野气息的悠闲自得。由于(他们)是老小一家人，我更感到有一种骨肉之情维系着他们。(伊133)

⑤⑨「高等學校の学生さんよ。」と、上の娘が踊子に囁いた。私が振り返ると△笑ひながら言った。「さうでせう。それくらゐのことは知つてゐます。島へ學生さんが來ますもの。」(伊17)

“是位高等学校的學生呢，”年長的姑娘對歌女悄悄說。我回過頭來，聽見(歌女)笑着說：“是呀。這點事，我也懂得的。島上常有學生來。”(伊121)

⑦⑩で、「喘息の発作を起こすようになった」のは「妻」であり、「雨の日で小さな傘をさしていたので向うから疾走してきた小型トラックが見えなかった」のは「美津子」である。日本語ではともに省略されているが、中国語では主語を補っている。「雨の日で小さな傘を……」のところに、もし、「それ以来、季節の変わり目になると喘息の発作が起るようになったのである」という文が続けば、ここの主語は「妻」になる。つまり全く文脈に依存しており、これが4・1承前とのちがいである。⑧⑪で、日本語では、誰が「親子兄弟である」かは省略されているが、中国語では、文脈から“他們”が補われている。⑨⑫で、日本語では、「笑ひながら言った」主体が省かれているが、形の上では、「上の娘」でも「踊子」でもいいはずである。中国語では、文脈から“歌女”が補われている。

4・3 敬語

日本語には敬語表現があり、主語をいちいち述べなくてもよくわかるが、中国語では主語を補うことが多い¹³⁾。

⑥⑩「△おいでが遅いので、お迎えにあがったのです。」(D55)

“您來晚了，我是來接您的。”(D37)

⑥⑪「△何か御不幸でもおありになつたのですか。」(伊25)

“您遇到什麼不幸的事嗎？”(伊141)

⑥⑫「△どうしても今日お立ちになるならまた下田でお目にかかりますわ。」(伊20)

“您要是今天非動身不可，到下田還可以和您見面。”(伊128)

日本語では主語が省かれているのに、中国語では相手に対する敬意を表わすため“您”という主語が使われているのである。

4・4 相手の名前を呼んで話しかける場合

相手の名前を呼んで話しかける場合、日本語では「あなた」ということばは入らないが、中国語では“你(您)”が入ってくる。

- ③「お婆ちゃん△は水泳がうまいかい？」(夕6-80)
 “姥姥，③游泳游得挺好吗？”(夕6-80)
- ④「関谷さん△は、ひとまず、ベルンへ行って下さい。」(D50)
 “关谷先生，我看，③还是先到贝隆去一下，”(D33)
- ⑤「もしもし，蘭ちゃん△，寒くないの？」(リ161)
 “喂，小兰，③冷不冷？”(リ161)

日本人学生がよく間違ふことだが、田中君に「田中君は行きますか。」と尋ねる場合，“田中去吗？”ではなく，“田中，你去吗？”である¹⁴⁾。

4・5 複文

4・5・1 「A～，B……」

「A～，B……」(例えば，「Aが～した時，Bは……」)の形は，原則的には，日本語・中国語とも，AもBも省略されない。¹⁵⁾

- ⑥「私がもう一度投げると，男は持つて歸つた。(伊18)
 我又一次投下去，他就拿着走了。(伊124)
- ⑦「千代子が私の歯並びの悪いことを言つたので，踊子が金歯を持ち出したのだらう。(伊23)
 大概千代子说我的牙齿长得不齐整，所以歌女说可以换上金牙。(伊136)
- ⑧「榮吉が船の切符とはしけ券とを買ひに行つた間に，私はいろいろ話しかけて見たが，踊子は掘割が海に入るところをじつと見下したまま一言も言はなかつた。(伊25)
 荣吉去买船票和舢板票的当儿，我搭讪着说了好多话，可是歌女往下列望着运河入海的地方，一言不发。(伊140)

ところが、日本語では、4・1～4・4でみてきたような主語の省略があり、Aが省略されたり、Bが省略されたり或いはA、Bともに省略される場合もあり、中国語ではそれを補わなければならない。

- ⑨「踊子が一人裾を高く掲げて、とつとつと私について来るのだつた。一間程うしろを歩いて、その間隔を縮めようとも伸さうともしなかつた。
 私が振り返つて話しかけると、△驚いたやうに微笑みながら立止つて

返事をする。踊子が話しかけた時に、△追ひつかせるつもりで待つてゐると、彼女はやはり足を停めてしまつて、私が歩き出すまで歩かない。(伊22)

歌女一个人高高地提起下摆，紧紧地跟着我跑。她走在后面，离我一两米远，既不想缩短这距离，也不想再落后。我回过头去和她讲话，她好象吃惊的样子，停住脚步微笑着答话。歌女讲话的时候，我等在那里，希望她赶上来，可是她也停住脚步，要等我向前走她才迈步。(伊134)

⑦「この場合、毒を入れた当人は、どんな気持になるだろうか。」

「そうですね、あなたが死ななかったのですから、△計画が発覚したことに気がつく。」(友57)

“在这种情况下，下毒药的本人是什么心情呢？”

“是呀，因为您还健在，他会发现计划泄露了。”(友57)

⑧なぜ一人ではいけないのか、私は實に不思議だつた。△玄關を出ようとすると踊子は犬の頭を撫でてゐた。(伊24)

为什么带一个人去不行呢，我实在觉得奇怪。我正要走出大门口的时候，歌女摸着小狗的头。(伊139)

⑨で、日本語では、一文目の「踊子」が、三文目にまでかかってきており、「A～，B……」の型がくずれて、Bが省略されているが、中国語では補われている。四文目でも、日本語は、三文目の「私」を承けて、「A～，B……」のBが省略されているが、中国語では「我」が補われている。⑩で、日本語は一文目の「当人」を承けて、二文目のBが省略されているが、中国語では「他」が補われている。⑪で、日本語は、一文目の「私」を承けて、二文目のAが省略されているが、中国語では補われている。以上、4・1承前による影響で、「A～，B……」の型が□□から、□△，△□¹⁶⁾にくずれた例である。

次に4・2文脈による影響で、「A～，B……」の型がくずれる例をみる。

⑫そこへこの木賃宿の間を借りて鳥屋をしてゐるといふ四十前後の男が襖を明けて、御馳走をすると娘達を呼んだ。踊子は百合子と一緒に箸を持つて隣りの間へ行き、鳥屋が食べ荒した後の鳥鍋をつついてゐた。△こちらの部屋へ一緒に立つて来る途中で、鳥屋が踊子の肩を軽く叩いた。(伊21)

这时，住在小旅店里的一个四十岁上下的鸟店商人打开了纸榻扇，叫几

个姑娘去吃菜。歌女和百合子拿着筷子到隔壁房间去吃鸟店商人剩下的鸡火锅。(她们)一起向这个房间回来时, [鸟店商人] 轻轻拍了拍歌女的肩膀。(伊131)

- ㉓ 出立の朝, △七時に飯を食つてみると, [榮吉] 道から私を呼んだ。(伊24)

出发的早晨七点钟, (我)正在吃早饭, [榮吉] 就从马路上招呼我了。(伊139)

- ㉔ 小一時間經つと, 旅藝人たちが出立つらしい物音が聞えて來た。私も落着いてゐる場合ではないのだが, 胸騒ぎがするばかりで立ち上る勇氣が出なかつた。△旅馴れたと言つても女の足だから, 十町や二十町後れたつて△一走りには追いつけると△思ひながら, 爐の傍でいらいらしてゐた。(伊16)

将近一小时之后, 我听到了巡回艺人准备出发的声音。我当然很不平静, 可只是心里头七上八下的, 没有站起身来的勇气。(我想, 尽管(她们)已经走惯了路, 而毕竟是人人的脚步, 既使走出了一两公里之后, (我)跑一段路也追得上她们, 可是坐在火炉旁仍然不安神。(伊119)

㉕で, 三文目のAは, 日本語では省略されているが, 中国語では“她们”が補われている。㉓は, 第七章の冒頭部分であり, 日本語では, 「七時に飯を食つてゐる」の主語Aは, 文脈からわかるので省かれているが, 中国語では“我”が補われている。㉔の三つの目の文の「旅馴れた」の主語は, 日本語では文脈からわかるので省略されているが, 中国語では“她们”が補われている。「旅馴れたと言つても」の後に, 「体調がよくないので, 彼らに追いつけるかどうか……」というような文がくれば, 主語は「私」であり, 全く文脈に依存している。このあたりの読み取りが, 外国人には難しいところであろう。以上, 4・2文脈による影響で, 「A~, B……」の型が□□から, △□, △△にかわつた例である。

次に, 4・3敬語の影響で, 「A~, B……」の型がくずれる例を見る。

- ㉖ 「[私達は] 甲州屋といふ宿屋にきめて居りますから, △直ぐお分りになります。」(伊20)

“[我们] 决定住在甲州屋旅店里, (您) 立刻就会找到的。”(伊128)

- ㉗ 「でも, うちのちちいでございますから御心配なさいませぬ。お見苦しくても, △動けないのでございますから, △このままで堪忍してやつて下さいまし。」(伊15)

“不过，这是家里的老爷子，您用不着担心。看上去好难看，可是^⑥不能动了，请^⑦您就忍耐一下吧。”（伊119）

⑦「お顔をよく覚えて居ります。今度△お通りの時に▽お禮をいたします。」（伊16）

“我要记住您的相貌，下回^⑧路过的时候▽再向您道谢。”（伊16）

⑨で、日本語は、「お分りになる」という敬語を使っていて、「A～、B……」のBが省略されているが、中国語では“您”が補われている。⑩で、日本語では、Aは承前により、Bは敬語によって省略されているが、中国語では、“他”“您”が補われている。⑪では、日本語は、「お通りする」人と「お禮をいたす」主語が、敬語があるため、言わなくてもわかるので省略されているが、中国語では、Aは“您”が補われ、Bについては、“我要记住您的相貌”のうしろを、逗号(、)にして、続けて訳し、“再向您道谢”にかけている。以上、4・3敬語の影響で、「A～、B……」の型が□□から、□△、△△にかわった例である。

以上見てきたように、複文「A～、B……」は、□□が基本の型であるが、承前、文脈、敬語、更には、会話、命令、一般的真理等の影響をうけて、□△、△□、△△、△▽、▽▽などのさまざまな型をとる。

4・6・2 「A～、A……」

「A～、A……」（例えば「Aが～した時(A)は……」）では、原則的には、どちらかのAが省略される。つまり、□▽又は▽□になる。

⑦ 踊子は 竹束のところまで引き返すと、▽また走つて来た。（伊23）

歌女 回到堆竹子的地方，▽又跑回来。（伊136）

⑧ 踊子は 枯草の中の腰掛けに太鼓を下すと▽手巾で汗を拭いた。（伊22）

歌女 在枯草丛中卸下了鼓，放在凳子上，▽拿手巾擦汗。（伊134）

⑨ ▽それを見るまで私^⑩は、二人が夫婦であることをちつとも知らなかつたのだつた。（伊19）

▽在看到这以前，我^⑪一点都不知道这两个人是夫妇。（伊128）

⑫「▽今日立つつもりでしたけれど、今晚お座敷がありさうでございますから、私^⑬達は一日延ばしてみることにいたしました。」（伊19）

“本来▽打算今天走的，可是今天晚上要接待客人，我们^⑭准备延长一天。”（伊128）

㊸▽二人連れて行くとしたら、**彼は**籤引では連れて行きたくなかった。(入59)

假如▽带领两三个人去，**他**并不愿意用抽签决定人选。(入59)

㊹▽入れ札と言う声を聴いたとき、**九郎助は**悪いことになったなあと思った。(入60)

在▽听到说要投票的时候，**九郎助**心想这可糟了。(入60)

㊺㊻は□▽，㊼～㊾は▽□の例である。

ところが，承前や文脈，敬語，命令によって型がくずれる。

㊿夜、私が木賃宿に出向いて行くと、踊子はおふくろに三味線を習つてゐるところだつた。△私を見ると止めてしまつたが，▽おふくろの言葉でまた三味線を抱き上げた。(伊21)

晚上我到小旅店去，歌女正跟妈妈学三弦。**她**看到我就停下了，可是▽听了妈妈的话又把三弦抱起来。(伊131)

㊽無頼漢のやうな男に途中まで路を案内してもらつて，私と榮吉とは前町長が主人だといふ宿屋へ行つた。▽湯にはいつて，△榮吉と一緒に新しい魚の晝飯を食つた。(伊24)

我和荣吉找一个游手好闲的人领路，一直把我们送到一家旅馆去，据说旅馆主人就是以前的区长。▽洗过澡之后，**我**和荣吉吃了有鲜鱼的午饭。(伊138)

㊾「△まだ若いくせに，▽そんなことを考えるんじゃない。」(ダ6-82)

“**你**还小，▽快不要那么想。”(ダ6-82)

㊿は承前により△▽に，㊽は文脈により▽△に，㊾は命令により△▽になった例である。

「A～，A……」は，原則的には，□▽又は▽□であるが，承前，文脈，敬語，会話，命令，一般の真理などにより，▽▽，▽△，△□，△○，△▽，□△，□○などの形をとる。

5. まとめ

以上，日本語と中国語の主語の省略についてみてきたが，日本語も中国語も省略されないものとして，1.固有名詞が主語となる場合，2.主体が変わる場合，3.とりたて，4.格助詞「が」のついている場合，5.副助詞「も」のついている場合がある。日本語も中国語も省略するものとして，1.真理

や事実や客観性の強い発言, 2. 命令や依頼を表わす文, 3. 日本語で主語を省略した複数の文を, 中国語では文を切らないで, 逗号(・)でつないで, 前の主語がうしろにかかっている場合, 4. 会話の場合などがあげられる。日本語は省略しないが中国語は省略するものとしては, 複文で日本語と中国語の位置が逆になる場合, “刮风” “下雨” などの無主語文の場合がある。日本語は省略するが中国語は省略しないものとして, 1. 前文又は二三文前の主語を承ける場合, 2. 前後の文脈による場合, 3. 敬語が使われている場合, 4. 相手の名前を呼んで話しかける場合, 5. 複文の場合がある。

日本語の複文を理解する場合, こうした様々な要素がからんで省略された主語を補わなければならない。例えば, 「A~, B……」は, 原則的には, 日本語も中国語も A・B を省略しないが, 敬語があったり, 前の文章を承けたり, 文脈などによって, A と B のいずれか, 或いは両方とも省略される場合がある。中国語訳する際には, そうしたものを補わねばならない。

主語の省略については, この他, 感情形容詞, 「~したい」「~と思う」「~してあげる」, 知覚動詞などの場合, 日本語では省略可能だが, こうしたものと中国語の対応関係, 或いは, 会話の文と他の文を分けて考えねばならないだろうし, 文末の助詞なども関係してくると思われるが, これらについては, 今後更に考えていきたいと思っている。

〈注〉

- 1) 山口明穂『国語の論理』1989年、東京大学出版会、p.8~p.10
この何行か前に、「(踊子が)うなづいて見せる」という描写があり、ここでも「(もうーべんただ)うなづいて見せた」とあることから、主語は「踊子」であるとしている。
- 2) Edward Seidensticker, *The Izu Dancer and Other Stories*, CHARLES E. TUTTLE COMPANY, 1974, p.28
- 3) 久野璋『談話の文法』1978年、大修館書店
水谷信子『日英比較講座 話しことばの文法』1985年、くろしお出版
- 4) 1のように、共に主語のあるものを□、2のように、共に省略される場合を▽、3、4のように、自分は省略されないが相手が省略される場合を○、自分は省略されるが相手が省略されない場合を△で表わすこととする。
- 5) 平井昌夫『文章表現法』1969年、至文堂、p.355
- 6) 「△決して歌ふんじやないよ。」(伊21) “(你)可千万不要唱歌呀。”(伊132), 「△ぜひきかせてください。」(牛61) “(你们)就讲给我听吧。”(牛61), 「△話してくれないか」……「矢部は、何故、迎えに来なかったのだ？」(D19) “(你)能不能告诉我, 矢部为什么不来接我?” (D11), 「△活動へ連れて行つて下さいませね。」(伊22) “(你)带我去看电影好吧?”(伊133)これらは、敬語とは関係がないのに、主語が入っている。
- 7) このことについては、秦礼君氏が〈汉日主語比較〉(《日语学习与研究》1987年3期p.96)で、すでに指摘している。
- 8) 「△直ぐ戻つて来ますから、待つてみて續きを讀んで下さいね。」(伊21) “(我)马上就回来, 等我一下, 还请接着读下去。”(伊132), 「△見て来ませうね。」(伊21) “(我)去找找看。”(伊135), 「とにかく△あんな恐ろしい話はきいたことがない。」(牛62) “反正(我)从来没听过那么吓人的故事。”(牛62), 「△大島にゐる時は何をしてゐるんです。」(伊22) “(你)在大岛的时候做些什么?”(伊135), 「杖に上げます。△一番太いのを抜いて来た。」(伊23) “给你做手杖。(我)挑了一根挺粗的。”(伊136), 「△どうするんだ。」(伊23) “(你)干什么?”(伊136)
- 9) 注4)参照。
- 10) 例外として、〈(彼は)、草津へ行った連中とは、反対に△榛名の西南を目ざして、ぐんぐん山を降りかけた。〉(入64)〈△和去草津の人相反、(他)朝着榛名的西南山脚大踏步地走下山去。〉(入64)がある。
- 11) 平井昌夫『文章表現法』1969年、至文堂、p.348
- 12) ただし例外もある。〈夜半を過ぎて私は木賃宿を出た。娘達が送つて出た。踊子が下駄を直してくれた。(踊子は)門口から首を出して、明るい空を眺めた。〉(伊22)〈过了半夜, 我离开小旅店, 姑娘们走出来送我。歌女给我摆好了木屐。(她)从门口探出头来, 望了望明亮的天空。〉(伊133)これは日本語の方の例外である。三文目に「踊子」が主語ででているのに四文目でも「踊子」が主語として出ている。「私」「娘

達「踊子」と登場人物が多いから、「踊子」を補ったと思われる。〈湯から上ると私は直ぐに晝飯を食べた。▽湯ヶ島を朝の八時に出たのだつたが、その時はまだ三時前だつた。〉(伊18)〈洗过澡我立刻吃午饭。▽早晨八点钟从汤岛出发，而这时还不到午后三时。〉(伊123)これは中国語の方の例外である。二文目に主語を補っていない。

- 13) 孙群 <日汉语的代词对比翻译> (《日语学习与研究》1984年1期), p.29
- 14) 他の人に「田中君は行きますか」と尋ねる場合は“田中去吗?”でよい。
- 15) 小川泰生 <日中比較研究—「は」と「が」について—> (『古田教授退官記念中国文学語学論集』1985年, 東方書店, p.732参照。
- 16) 日本語から見た。□△は, 「A~, B……」で, Aは日本語も中国語も省略せず, Bは日本語は省略するが中国語は省略されないことを表わす。以下も同じ。

参考文献

1. 平井昌夫『文章表現法』1969年, 至文堂
2. 久野璋『談話の文法』1978年, 大修館書店
3. 水谷信子『日英比較講座 話しことばの文法』1985年, くろしお出版
4. 孙群 <日汉语的代词对比翻译> (《日语学习与研究》1984年1期, p.29~p.34)
5. 连漱玉 <日语的无主句> (《日语学习与研究》1986年2期, p.82~p.87)
6. 秦礼君 <汉日主语比较> (《日语学习与研究》1987年3期, p.94~p.97)
7. 张我为 <日语句子的人称和主语的潜在> (《日语学习与研究》1987年2期, p.22~p.26)

例文出典と略語

1. 伊: 川端康成『伊豆の踊子』(『川端康成集』) 1955年, 筑摩書房
侍桁译《伊豆的歌女》(《雪国》) 1981年, 上海译文出版
2. D: 西村京太郎『D情報機関』1978年, 講談社
关燕军译《D情报机关》1982年, 北京出版社
3. ダ: 生島治郎著, 隋刚译『ダイニング・メッセージ(临终遗言)』(《日语学习与研究》1982年5期, 1984年6期)
4. 入: 菊池寛著, 岳久安译『入れ札(投票)』(《日语学习与研究》1985年1期, 2期)
5. 嘘: 遠藤周作著, 黄来顺译『嘘(谎话)』(《日语学习与研究》1987年5期)
6. 友: 星新一著, 赵星海译『友情の杯(友情之杯)』(《日语学习与研究》1985年2期)
7. 石: 川端康成著, 雷定平译『石榴』(《日语学习与研究》1984年6期)
8. リ: 望月八十吉, 高維先訳注『リングフォン中国語コース』1975年
9. 牛: 小松左京著, 赵星海译『牛の首(牛头)』(《日语学习与研究》1986年6期)

日中对照研究

— 关于主语省略的问题 —

一般认为：日文比英文更多省略主语。这种日文主语的省略不仅对初学日文的中国人较难，即使在日本人讲中文时，也同样是应注意的一个问题。

本稿拟就日文与中文的主语何时可否省略问题，以川端康成《伊豆的歌女》一文为主要资料进行初探。其内容分为四部分：〈一〉日文、中文都不省略主语的句子。〈二〉日文、中文都省略主语的句子。〈三〉日文不省略，中文省略的句子。〈四〉日文省略，中文不省略的句子。

〈一〉日文、中文都不省略主语的句子可包括如下几种情况：1.以固有名词为主语，2.叙述的主体发生变化时，3.特指某一事物或人物时，4.日文中使用格助词“が”时，5.使用副助词“も”时。

〈二〉日文、中文都省略主语的句子可包括：1.谈论真理、事实或具有较强的客观性内容时，2.表达命令或请求的句子，3.在日文中，省略了相同主语的若干的并列句子，在中文中，各以逗号(,)相联，第一句中主语可为其它各句主语时，4.进行会话时等。

〈三〉日文不可省略主语，但中文可省略主语的句子，包括在复句中，日文和中文的主语互相倒置的句子，以及“刮风”、“下雨”等。

〈四〉日文可省略主语，但中文不可省略主语的句子。这种情况包括：1.承接上句或前两三句的主语时，2.视文章前后关系而决定时，3.使用敬语时，4.欲与对方讲话，先称呼对方时，5.出现复句时。

理解日文复句时，要综合以上各种要素，补全被省略的主语。例如：“Aが～時，Bは……”一文中，原则上日文、中文均不省略主语，但文中出现敬语，某句话承接前文主语或根据文章内容，A与B可分别或同时被省略。译成中文时，要按原意适当补全主语。

此外，诸如感情形容词、“～したい”、“～と思う”、“～してあげる”及知觉动词等出现时，日文可以省略主语，但这种省略与中文具有何种对应关系，此外会话体与非会话体的句子应分别考察，主语省略与句末的助词的关联等问题，尚待今后进一步探讨。